



臨床ストレス応答学会

The Biomedical Society for Stress Response

## BSSR NEWS LETTER No. 11

2016. 7.1

---

**お知らせ** 学会ホームページが新しくなり、アドレスが変更になりました。  
新しいホームページをぜひご覧ください。

<http://bssr.jp>

---

### 第 10 回臨床ストレス応答学会大会開催報告

第 10 回大会長 養王田 正文（東京農工大学大学院工学研究院）

平成 27 年 11 月 6 日(金)、7 日(土)の 2 日間に渡って、第 10 回臨床ストレス応答学会大会を東京農工大学 140 周年記念会館（エリプス）にて開催させていただきました。学内外の多数の皆様のご協力の下、招待を含めると 150 名ほどの参加者をお迎えし、活発な討論が行われました。

本大会の開催の準備を開始した平成 26 年秋に、本学会の主要なメンバーである森和俊 京都大学大学院教授がアルバート・ラスカー基礎医学賞を受賞されました。本大会では、その受賞を記念し、森先生と 2008 年にラスカー・ドゥペーキー臨床医学研究賞を受賞された遠藤章 東京農工大学特別荣誉教授をお招きし、ラスカー賞受賞記念特別講演を行いました。森先生は、「小胞体ストレス応答によるタンパク質品質管理」という演題でラスカー賞受賞に関わる研究に加えて最新の研究成果についてご講演いただきました。また、遠藤先生は体調が思わしくないところでしたが、別室からビデオ中継で「スタチンの発見と開発」に関するご講演をしていただきました。この特別講演会は学内関係者も含めたオープンな講演会とし、東京農工大学学長の他、多数の方にご参加いただきました。2 人のラスカー賞受賞者による講演会を行う機会を得ることができたことは本学にとって光栄なことでした。

発表申し込みが多数であったことから、若手奨励賞対象の発表はポスター発表とし、22 名の学生や若手研究者が発表しました。非常に優れた発表が多く、活発な議論が行われ、5 名の方に若手研究奨励賞を授与いたしました。シンポジウムは、RNA ストレスとシャペロン療法というタイトルで行い、5 名の先生方にご講演いただきました。シンポジウムの前に行われたランチョンセミナーでの、東京大学アイソトープ総合センター秋光信佳教授のご講演「ストレスに応答した RNA 分解制御に関する研究」と

## *The Biomedical Society for Stress Response*

も合わせて、活発な討論が行われました。ランチョンセミナーの企画にご協力いただいた、ファルマシユプール株式会社及び北海道システムサイエンス株式会社に感謝いたします。一般口頭発表は **Bridge to Clinics** も含め、20 演題でした。限られた時間の中での発表と討論にご協力いただいたことに感謝いたします。

本大会には海外から Groningen 大学の Harm H. Kampinga 教授とミュンヘン工科大学の Martin Haslbeck 博士にご参加いただきました。Haslbeck 先生には、一般講演で sHsp に関する最新の研究を発表していただきました。Kampinga 先生には、大会の最後にタンパク質凝集病における HSP の機能について特別講演をしていただきました。Kampinga 先生とは特に親しくはなかったのですが、メールでの招待に快諾していただき、ご多忙な日程の中で2泊4日という強行スケジュールで来日していただきました。改めて感謝いたします。

最後に、本大会の準備と運営にご協力いただいた臨床ストレス応答学会の会員の皆様と東京農工大学の教員と学生に感謝申し上げます。



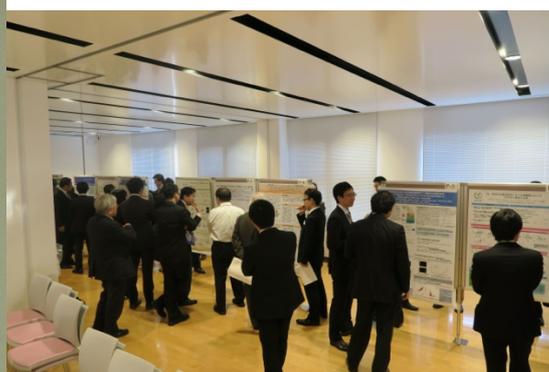
Kampinga 先生



遠藤先生



森先生



ポスター会場

## 臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞

2015年度第4回若手研究奨励賞は、中井彰選考委員長をはじめとする4名の選考委員の厳正な審査のもと、以下の5名の先生が選ばれ、懇親会において授賞式が行われました。

**増井 憲太**（東京女子医科大学 医学部病理学第一講座）

「悪性脳腫瘍はグルコースの代謝を介して治療抵抗性を獲得する」

**武内 敏秀**（京都大学 化学研究所生体機能設計化学研究領域）

「分子シャペロンのエクソソームを介した細胞間伝播による細胞非自律的なタンパク質の恒常性維持機構」

**山本 陽平**（東京農工大学 工学府生命工学専攻）

「グループ II 型シャペロニン CCT におけるサブユニット協調作用の解析」

**山本 悠太**（和歌山県立医科大学 医学部解剖学第一講座）

「ランソプラゾールの肝保護作用と非アルコール性脂肪肝炎（NASH）治療への応用」

**三宅 雅人**（徳島大学 疾患プロテオゲノム研究センター生体機能分野）

「小胞体ストレスを標的とした膵β細胞でのインスリン生合成を促進する新規化合物の同定」

### 2015年度 若手研究奨励賞選考委員

中井 彰（山口大学）選考委員長

樋口 京一（信州大学）

永井 義隆（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

徳永 文稔（群馬大学）

## 第 11 回臨床ストレス応答学会大会のご案内

会員の皆様に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、第 11 回臨床ストレス応答学会大会を山口県宇部市で開催させていただくことになりました。研究会から発足して 20 年以上にわたり歴史を積み重ねてきた本大会のお世話をさせていただくことを光栄に思っております。全国のストレス応答と関連する領域の生命科学・医学・医療の研究者が一堂に会し、最近の進歩と展望について議論する有意義な場になるように尽力いたします。

細胞のストレス応答は発生や老化の過程だけでなく、老化と関連する神経変性疾患、精神神経疾患、心血管疾患や糖尿病などの生活習慣病やがんなどと関連することが明らかになってきました。最近のトピックスの一つは、様々な代謝がストレス応答を介してこれら多くの難治性疾患や老化の進行に影響を与えることが明らかとなってきたことです。本大会では、アミノ酸代謝変化による転写環境の構築で独創的な研究を進めておられる深水昭吉筑波大学大学院教授による特別講演 I を企画いたしました。また、タンパク質の分解に重要であることが知られているユビキチンは、広範な生理機能を担う化学修飾の一つであることも注目されています。そこで、ストレスシグナルを担うユビキチン修飾の先駆的な研究を進められている岩井一宏京都大学大学院教授による特別講演 II を企画しております。さらに、2つのシンポジウムも企画いたしました。シンポジウム I 「核を介するストレス適応機構」では、5名の海外招聘者を含む新進気鋭の研究者に、熱や活性酸素によるストレス、あるいは不良タンパク質の蓄積が核へ伝えられ遺伝子発現を介して神経をはじめとする組織を維持する仕組みについて最新のデータを交えてご紹介していただきます。シンポジウム II 「ストレス応答と疾患 ; Bridges to Clinics」では、3名の臨床系の研究者に、ストレス応答と肝臓及び腎臓疾患、がんと関連するデータをご紹介いただき、ストレス応答機構を標的とした臨床応用についても議論を深めてまいりたいと考えております。

本大会は、これまでの形式を継承して一つの会場で開催し、発表者はすべて口頭発表を行っていただく予定です。また、若手研究奨励賞を 5 人に授与しますので、是非とも積極的にご参加ください。山口の文化と味をお楽しみ頂きながら個々の未来を考え、また会員相互の親交を深めて頂ければ幸いです。本大会が会員一人ひとりにとって実り多きものとなりますよう、多数の皆様のご参会を心よりお待ちしております。

平成 28 年 7 月吉日

第 11 回臨床ストレス応答学会大会長

山口大学大学院医学系研究科 教授

中井 彰

会期：2016年11月11日（金）、12日（土）

会場：山口大学医学部霜仁会館

山口県宇部市南小串 1-1-1

<http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/guide/access.html>

39歳以下の若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を選考いたします。

詳細は演題申込方法をご覧ください。また、下記の特別講演2題、シンポジウム、ランチョンセミナーを予定しています。

#### 特別講演

- 11月11日 深水 昭吉 筑波大学大学院 教授  
(新学術領域研究「転写代謝システム」代表)
- 11月12日 岩井 一宏 京都大学大学院 教授  
(新学術領域研究「ユビキチン制御」代表)

#### シンポジウム

- 11月11日 「核を介するストレス適応機構」
- 11月12日 「ストレス応答と疾患 ; Bridges to Clinics」

一般演題募集： **演題応募締切：2016年9月16日（金）**

演題申し込み要領は学会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

#### 大会事務局:

第11回臨床ストレス応答学会大会事務局  
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1  
山口大学大学院医学系研究科医化学分野  
担当：藤本充章  
Tel: 0836-22-2215, Fax: 0836-22-2315  
e-mail: yoji530@yamaguchi-u.ac.jp

#### 学会事務局:

札幌医科大学医学部病理学第一講座内  
Tel&Fax: 011-643-2310  
e-mail: BSSR@sapmed.ac.jp

大会参加費： 一般 5,000円 学生 2,000円  
学会当日、受付にてお支払いください。

**事前参加申込方法：**

参加登録は大会ホームページから登録してください。

<http://bssr.jp/endai/>

**事前参加申込締切：2016年10月21日（金）**

**演題申込方法：**

本学会の一般演題発表者としてのお申込みは、一人一題に限られます。ただし、他の演題の共著者になることは差し支えありません。また、発表者は本学会員に限ります。申込みには事前参加登録及び年会費の振込みが必要です。

演題申し込み要領は下記大会ホームページをご覧ください。

<http://bssr.jp/endai/>

**演題申込締切：2016年9月16日（金）**

**若手研究奨励賞について：**

臨床ストレス応答学会では、若手研究者による優れた研究を表彰し奨励する目的で、「臨床ストレス応答学会若手研究奨励賞」を設けます。応募資格・応募方法・選考方法・授賞式に関する詳細は下記の通りです。

- 応募資格： 第11回臨床ストレス応答学会大会当日(2016年11月11日)において、39歳以下の若手研究者。
- 応募方法： 演題応募時、抄録ファイルに「若手研究奨励賞に応募する」と記載すること。
- 選考方法： 若手研究奨励賞への応募演題は大会1日目(11月11日)に口演およびポスター形式でご発表いただきます。抄録と発表内容を4名の選考委員が審査し、5名程度の受賞者を選出します。
- 授賞式 大会1日目(11月11日)の懇親会において、大会長より賞状並びに副賞(賞金)が授与されます。

## *The Biomedical Society for Stress Response*

### 大会実行委員：

委員長：中井 彰（山口大学大学院医学系研究科医化学分野）

### 委員：

足立 弘明（産業医科大学医学部神経内科）  
伊藤 英晃（秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学科）  
今泉 和則（広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子細胞情報学）  
鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科免疫学分野）  
柴田 亮行（東京女子医科大学医学部病理学第一講座）  
徳永 文稔（大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学）  
鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）  
永井 義隆（大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学）  
西頭 英起（宮崎大学医学部機能生化学）  
樋口 京一（信州大学大学院医学系研究科加齢生物学）  
久留 一郎（鳥取大学大学院医学系研究科再生医療学部門）  
松山 豪泰（山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学分野）  
養王田 正文（東京農工大学大学院工学府生命工学専攻）

（五十音順）

### 大会事務局:

第11回臨床ストレス応答学会大会事務局  
〒755-8505山口県宇部市南小串1-1-1  
山口大学大学院医学系研究科医化学分野  
Tel: 0836-22-2215, Fax: 0836-22-2315  
e-mail: yoji530@yamaguchi-u.ac.jp

## 学会役員・幹事・評議員

### 学会役員（平成28年4月1日～平成30年3月31日）

会長	鵜殿 平一郎（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授）
副会長	樋口 京一（信州大学大学院医学研究科 教授）
	鳥越 俊彦（札幌医科大学医学部 教授）
総務	中井 彰（山口大学大学院医学系研究科 教授）
会計	大塚 健三（中部大学応用生物学部 教授）
監事	六反 一仁（徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野 教授）
企画	養王田 正文（東京農工大学大学院工学府 教授）

アドバイザー	永田 和宏（京都産業大学総合生命科学部 教授）
	佐藤 昇志（札幌医科大学医学部 名誉教授）
	野村 馨（大月市立中央病院）
	田中 啓二（東京都医学総合研究所 所長）
	伊藤 英晃（秋田大学大学院工学資源学研究科 教授）

### 学会幹事

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
鵜殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
大塚 健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室

## The Biomedical Society for Stress Response

樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
藤田 潤	幸生会琵琶湖中央病院診療部
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
馬嶋 秀行	鹿児島大学医歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
六反 一仁	徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室

以上 35 名（五十音順）

### 学会評議員

青江 知彦	帝京大学ちば総合医療センターペインセンター
秋吉 一成	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻生体機能高分子分野
足立 弘明	産業医科大学医学部神経内科学講座
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室
伊藤 英晃	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻
今泉 和則	広島大学大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門分子細胞情報学
岩脇 隆夫	群馬大学・先端科学研究指導者育成ユニット
鶴殿 平一郎	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座免疫学分野
大塚健三	中部大学応用生物学部
親泊 政一	徳島大学先端酵素学研究所生体機能学分野
小山田 正人	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科
甲斐 広文	熊本大学大学院医学薬学研究部先端生命医療科学部門分子機能薬学講座
金関 貴幸	札幌医科大学医学部病理学第一講座
木村 洋子	静岡大学大学院農学研究科応用生物化学専攻
久保田 広志	秋田大学大学院工学資源学研究科・工学資源学部生命化学科基礎生命化学講座
桑田 一夫	岐阜大学人獣感染防御研究センター
小亀 浩市	国立循環器病研究センター分子病態部
後藤 知己	熊本大学教育学部養護教諭養成課程
小林 正伸	北海道医療大学看護福祉学部生命基礎科学講座
小安 重夫	独立行政法人理化学研究所統合生命医科学研究センター
笹栗 靖之	産業医科大学第二病理学
佐藤 昇志	札幌医科大学医学部
佐野 元昭	慶應義塾大学医学部循環器内科
佐原 弘益	麻布大学獣医学部
柴田 亮行	東京女子医科大学第一病理
祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御
高橋 良輔	京都大学附属病院神経内科
田中 啓二	東京都医学総合研究所
田村 保明	北海道大学フード&メディカルイノベーション推進本部難治性疾患治療分野

*The Biomedical Society for Stress Response*

田村 裕	千葉大学大学院医学研究院
千葉 進	札幌山の上病院神経内科臨床脳神経研究施設
徳永 文稔	大阪市立大学大学院医学研究科分子病態学
鳥越 俊彦	札幌医科大学医学部病理学第一講座
内木 宏延	福井大学医学部分子病理学
中井 彰	山口大学大学院医学系研究科医化学分野
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座
永田 和宏	京都産業大学総合生命科学部生命システム学科
西田 憲生	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
西頭 英起	宮崎大学医学部機能生化学
野村 馨	大月市立中央病院総合診療
原 勲	和歌山県立医科大学医学部泌尿器科学教室
樋口 京一	信州大学大学院医学研究科加齢適応医科学系加齢生物学分野
久枝 一	群馬大学大学院医学系研究科国際寄生虫学分野
藤木 幸夫	九州大学大学院理学研究院生物科学部門
藤田 潤	幸生会琵琶湖中央病院診療部
古橋 真人	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
堀 修	金沢大学医薬保健研究域医学系神経分子標的学講座
馬嶋 秀行	鹿児島大学医歯学総合研究科腫瘍学講座顎顔面放射線学
増本 純也	愛媛大学大学院医学系研究科ゲノム病理学分野
松岡 雅人	東京女子医科大学衛生学公衆衛生（一）
三浦 哲嗣	札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
森 和俊	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室・ゲノム情報分野
山田 健人	慶應義塾大学医学部病理学教室
山本 雄造	秋田大学医学系研究科消化器外科
養王田 正文	東京農工大学大学院工学府生命工学専攻
横田 伸一	札幌医科大学医学部微生物学講座
吉田 賢右	京都産業大学工学部生物工学科
吉森 保	大阪大学微生物病研究所
六反 一仁	徳島大学大学院医歯薬学研究部病態生理学分野
涌井 秀樹	秋田大学大学院工学資源学研究科生命科学専攻疾患生物学研究室
和田 郁夫	福島県立医科大学医学部附属生体情報伝達研究所細胞科学研究部門

以上61名（五十音順）

~ Cell Stress Society International からののお知らせ ~

**VIII International Symposium on Heat Shock Proteins in Biology and Medicine: Stress Responses in Health & Disease**

October 29-November 2, 2016  
Hilton Alexandria Old Town  
Alexandria, Virginia, USA

Principal Organizer: Stuart Calderwood

Co-organizers: Larry Hightower, Len Neckers, Betsy Repasky

Preliminary List of Sessions & Invited Speakers

1. Comparative Biology of Cancer and Longevity
2. HSPs and Proteostasis
3. Extracellular HSPs
4. Exercise, Diet and The Metabolomics of Cancer
5. Targeting HSPs, new drugs
6. Molecular Chaperones and Cancer
7. HSF1 in Health and Disease
8. HSPs modulate the Immune Response

Keynote Address: Stuart Calderwood

Plenary speakers: Wei Li, Michael Sherman

Comparative Biology of Cancer and Longevity

- Heike Gruber
- João Pedro de Magalhães
- Shelley Buffenstein
- Melody Clark

HSPs and Proteostasis

- Yatrik Shah
- Huseyn Mehmet
- Brian Freeman
- Yihong Ye

Extracellular HSPs

- Jennifer Isaacs
- Ayesha Murshid
- Carmen Garrido

Exercise, Diet and the Metabolomics of Cancer

- Betsy Repasky
- Zach Schleider
- Connie Rogers
- Mark Dewhirst

Targeting HSPs, new drugs

- Laszlo Vigh

Molecular Chaperones and Cancer

- Len Neckers
- Patrick Arrigo
- John Price
- Luke Whitesell

HSF1 in Health and Disease

- Gabriella Santoro

*The Biomedical Society for Stress Response*

- Lea Sistonen
- Navid Mivechi
- Valerie Mezger

HSPs modulate the Immune Response

- Christina Bonorino
- Shawn Wang and John Subject (jointly)
- Thiago Borges
- Sharon Evans

**Second International Workshop on The small HSP World, CEUB**

Centro Residenziale Universitario di Bertinoro, Italy  
October 12-15, 2016

Principal Organizer: Serena Carra

Co-organizers: Robert M. Tanguay and Angello Poletti

**VIIIth International Congress on Stress Responses in Biology and Medicine**

Turku, Finland, August 13-17, 2017.

Principal Organizer: Professor Lea Sistonen, University of Turku

~ 事務局からのご連絡 ~

入会手続き :

学会ホームページから手続きをお願い致します。

<http://bssr.jp/nyukai/>

年会費:

一般会員 5,000 円      学生会員 3,000 円      企業賛助会員 50,000 円

以下の郵便口座へお振込ください。

加入者名 : 臨床ストレス応答学会

口座番号 : 02730-3-64452

大会ポスターについて :

第 11 回臨床ストレス応答学会大会のポスターを事務局に用意しております。できるだけ多くの基礎・臨床研究者に参加していただくため、ポスターを配布して宣伝していただきますようお願い申し上げます。事務局まで必要枚数をお知らせ下さい。

\*\*\*\*\*

BSSR 事務局

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 17 丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座内 金関貴幸

TEL: 011-611-2111 (内線 2691) FAX: 011-643-2310

e-mail: [BSSR@sapmed.ac.jp](mailto:BSSR@sapmed.ac.jp)

ホームページ : <http://bssr.jp>